第3回 九州圏における地域の存続・再生に関する調査検討委員会

集落元気づくり知恵袋集(案)

集落元気づくり知恵袋集(案)

目 次

集落連携による都市交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
都市NPOの協力による都市農村交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
他出者による集落支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
集落が NPO 法人を設立し、環境整備・都市交流を実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
高齢者等の災害緊急避難・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
定住希望者への住宅整備補助・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
定住者希望者への給付金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
バスによる住民の移動手段の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
乗合タクシーによる住民の移動手段の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
NPO運行バスによる住民の移動手段の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
農業を志す定住希望者への研修(福井県三方上中郡若狭町)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
N P O による援農活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
ボランティアによる援農活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
棚田、そば、大豆オーナー制度(佐賀県松浦群有田町)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
特産酒類の製造・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
農家民泊等 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	16
農業生産法人以外の法人の農業への参入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
景観作物による農地の有効活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
海士ファン・バンク制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
特区における廃校舎利用の通信制高校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
特区における学校設置会社による学校設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
空き家を活用した地域の活性化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
町内会が自主財源確保のために特産品を製造・販売・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
NPO と行政の協働事業による空き家バンク ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
小規模集落元気作戦 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	25
五島市心のふるさと市民~バーチャル五島市~・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
地域 S N S	27
集落機能再編 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	28
田舎体験等における環境維持費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
廃校利用のアトリエ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
牛の放牧による農地保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31
むらづくり応援隊	32

集落応援隊 33
公務員八ンター 34
有害鳥獣の食肉加工施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
網・わな猟免許取得助成金
有害鳥獣進入防止事業費補助金
電気柵等の無償貸与
N P O法人会員によるトラスト農場······ 39
都市交流による棚田保全40
ワーキングホリデー (宮崎県児湯郡西米良村) 41
サーファー米 42
漢方野菜直売 43
山のコンビニ 44
豚の放牧による農地保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
共同出資店と車による移動販売・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
「花盛りの里山づくり」47
彩(いろどり) 48
企業組合村ネットワーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
無線 LAN を活用したブロードバンド技術の導入・・・・・・・・ 50
「むらづくり維新対策」を活用した遊休農地活用・・・・・・・・・・ 51
「わが町づくり支援事業」を活用した伝統芸能復活・・・・・・・・・・ 52
「地域づくりインターン制度」を利用した都市交流・・・・・・・・・・・・・・・・・53
無医地区の支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54

知 恵 袋 集

事例コード	001		
大 分 類	コミュニティ・交流		
小 分 類	都市交流		
内容	集落連携による都市交流		
説明	地区内の9つの集落が連携し「余谷21世紀委員会」を結成。生産のみから脱却し、地域資源を活かして消費者との交流を中心に余谷をアピールし、交流人口を増加させることで地域の活力を高める取り組みを実施。		
詳細	■余谷地区は以前から9集落での運動会や祭りを行っており、地域の結び付きが比較的良好なことから平成12年に開始される中山間地域直接支払制度のスタートを前に県の中山間地活性化のモデル地区として県・院内町の積極的な支援が開始されたことから取組がスタート。■現在は、大分大学から年間6回、1回50人の農業体験実習を受入、棚田を維持。田植えや収穫感謝祭には高崎団地等の都市部居住者が参加し、農業・農村への理解を深めてもらう取り組みを行っている。また、大分市の高崎団地で、年2回のイベントに参加。米、野菜等の産品販売、もちつき等開催。地区内に農産物直販所と農業法人を設立した。		
人材・組織区分	住民団体		
人材・組織名称			
事 業 区 分	県		
事 業 内 容	大分県中山間地域活性化モデル		
技術 内容	農業技術		
焦热次立 ※ ょ	● ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **		
集落資産・資源1			
集落資産・資源3	集 落 資 産・資 源 4		
集 落 資 産・資 源 5			
	18. LS. N. W. T. LERIULE		
九州内外			
都道府県	大分県市町村宇佐市		
文 献 名			
U R L	http://www1.ocn.ne.jp/~amari21/index.html		
画像ファイル名	101 余谷21世紀委員会		
	101 水自己自己及民公		

知 恵 袋 集 事例コ - k 002 分 大 類 コミュニティ・交流 分 小 類 都市交流 内 容 都市NPOの協力による都市農村交流 説 明 金峰町大坂地区長谷集落においては、NPO法人と地域住民が都市住民と の交流事業を中心とした共生協働事業に取り組んでいる。 ■地区内の高齢化率が60%を超える地域で地域コミュニティの維持・存続があやぶまれているが、地区内の長谷集落においては、平成18年度からNPO法人プロジェクト南からの潮流と地域住民が都市住民との交流事業を中心とした共生協働事業に取り組んでいる。■「新たな」によるコミュニティ創生支援モデル事業を利用し次の3つ取組をできませた。第144年の関係では、1987年の1987年である。1.44年7月日、大阪共和国の1987年である。2.44年7月日、大阪共和国の1987年である。2.44年7月日、大阪共和国の1987年7月日、大阪共和国の1987年7月日、大阪共和国の1987年7月日、大阪共和国の1987年7月日、大阪共和国の1987年7月日、大阪共和国の1987年7月日、大阪共和国の1987年7月日、大阪共和国の1987年7月日、大阪共和国の1987年7月日、大阪共和国の1987年7月日、大阪共和国の1987年7月日、大阪共和国の1987年7月日、大阪共和国の1987年7月日、大阪共和国の1987年7月日、1987 詳 後年アル事業を利用し次の3つ取組を行了アたである。1.のはり点を設置し、 地域の陶芸家を中心に、地元から産出する粘土や清流、雑木を利用した陶芸 体験により、地域住民と都市住民との交流を図る。2.自然景観(稚児の滝周 辺)や藩政時代の薩摩藩の坑口跡などの史跡を利用し、既存の錫山遊歩道と 接道する遊歩道やトレッキングコース等を整備都市住民との交流を促進する。 3.大坂地区公民館と協働し、「これまで集落単位で活動をしていたそれぞれの 地域を結び付ける」連帯意識を持つことを目的として自然木を活用した道標を 人材·組織区分 NPO 人材・組織名称 NPO法人プロジェクト南からの潮流 分国 区 内 業 容「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業 H20年度 技 術 内 容 新たな産業としてののぼり窯設置 集 落 資 産・資 源 1 自然 集落資産・資源2 集落資産・資源3 集 落 資 産 · 資 源 4 集落資産・資源5 九 州 内 外内 地 分 類 中山間地域 道 府 県 鹿児島県 市 町 村 南さつま市 都 文 献 名 U Lhttp://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/aratana-kou/katudou/No94.html R 画像ファイル名 102 プロジェクト南からの潮流

	知 恵	袋	集
事例コード	003		
大 分 類	コミュニティ・交流		
小 分 類	コミュニティ維持	STOCKS NEXT SERVICE OF STREETS	
内 容	他出者による集落支持	爰	
説明	集落出身者が外部で 維持活動が活発化し		うことで、集落住人の集落存続・
詳 細	メンバー30人で小規模 落在住者と共に忘年: 「紫峰会」で桜を植樹し	莫高齢化した出身集落 会を開催している。■1 し、集落在住者と環境 る。また、現在、「紫峭	会である「紫峰会」を結成し、年2回 係の道路清掃等を行うとともに、集 集落倉庫の前の耕作放棄地に 美化・集落活性化に努めるととも 隆会」の活動をベースに、集落存 成中である。
人材・組織区分	· 他出者		
人材・組織名称	Personal residence and the second sec	CHEST NATIONS CONTRACTORS	ASCAL PORTUGUES CONTRACTOR STATE OF THE STAT
事 業 区 分	特に無し		
事業内容	特に無し		
技 術 内 容	公役実施		
	는 At	He de Verde	※ ★ o 牡/c+b 吞 ルb
集落資産・資源1			・資源2耕作放棄地
集落資産・資源3		上 集	• 資源 4 桜
集落資産・資源5			
九州内外	内	地域	分 類 中山間地域
	鹿児島県	市町	
文 献 名			
U R L			
画像ファイル名	103 紫峰会		

知 恵 袋 集 事例コード 004 分 類 大 コミュニティ・交流 分 小 類 都市交流 内 容 集落がNPO法人を設立し、環境整備・都市交流を実施 説 明 集落で都市交流、環境整備を推進するためにNPO法人を設立し、活動経費 を捻出のために地域特産品や清酒を販売している。 詳 ■H15年に地区の現状に危機感をもったこの地区の住民が主体となり、ボラ ■H15年に地区の現状に厄候窓をもったこの地区の住民が工作となっ、ホッンティアグループ「きびっとの杜」を結成し、荒廃した里山・棚田に生える孟宗竹の伐採と自然公園づくり活動を開始した。H17年にはNPO法人化して活動を本格化させ、高齢化が進む中山間地域において様々な集落活性化の活動を継続してきており、6年間で桜で展示700本植物は、知恵には幼稚園児の質には、またでは、2000本地路に、初東には幼稚園児の質 ドをときびっとの森公園を整備した。■春に桜祭り、初夏には幼稚園児の筍 堀体験等を実施し、広い地域から人が集まっている。NPO法人化した結果、集 落居住者以外の広範囲からのボランティア参加と交流人口の獲得が可能と なった。 人材・組織区分 NPO 人材・組織名称 きびっとの杜 分国 区 業 内 容「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業、佐賀県による森林づくり ボランティア支援事業((財)さが緑の基金) 技 術 内 容植栽、造園技術 集 落 資 産・資 源 1 自然 集 落 資 産・資 源 2 里山 集 落 資 産・資 源 3 農地 集落資産·資源4 桜 集 落 資 産・資 源 5 九 州 内 外内 地 分 類 中山間地域 道 府 県 佐賀県 市 町 村 基山町 都 献 文 名 U R Lhttp://kibit.kiyamatown.com/ 画像ファイル名 104 きびっとの杜

		知 恵	袋	集
事例コー	– F	005		
大 分	類	生活サービス		
小 分	類	高齢者生活支援	Massical Control (8 1998)	
内	容	高齢者等の災害緊急	当 波 挙	
				- W = 18+1 = 7.7 TA W 18 = 1.18
説	明	熊本大学の支援に 所6箇所の確認、災	59、山都町の官地区 (害時の避難連絡の方法	で、災害が起こる危険性が高い場 まや、具体的な避難方法を検証。
詳	細	■大学の有する知的 実践、IT技術を活用 ティバスを活用した3	り財産を活用し、ワーク した避難情報伝達シス 交流型地域防災活動の	ショップを通じた地域防災教育のテムの開発とその適用、コミュニッ実践を実施。
人材・組織	战区分	大学		
人材・組織	战名称	熊本大学		
事業	☑ 分	T		
		地域の元気再生事業	───── 業 H20年度	
技術内] 容	防災•避難技術		
集落資産・	資源1		集落資産	・資源2
集落資産・	資源3		集落資産	• 資源 4
集落資産・	資源5			
九州内	,外	内	地域	分 類 中山間地域
都道府		熊本県	市町	村山都町
文献	名			
	4			
U R	L	http://www.kantei.go	o.jp/jp/singi/tiiki/genki	/090306/108-jisshi.pdf
画像ファイ	ル名			

	知 恵	袋	集	
事例コード	006			
大 分 類	コミュニティ・交流			
小 分 類	定住促進			
内容	定住希望者への住宅塾	整備補助 		
説明	小規模高齢化集落に存っている費用の一部を		定住希望者のために、住宅改装	
詳細	土の保全、心をいやすしこのような地域は市役が進み、そこに住む市況にある。綾部市は水重点施策と位置づけて条例」を制定。■ 水源 60%以上、の理念、1.水源の里の持つ機能を守る、水源	安らぎの場など、多く 封地から遠くはなれた 民の暮らしそのもの・ 源地域の振興と活性 の里の位置付、1.距 3.世帯数 20戸未 ・存続過疎に歯止め、 かん養、国土・自然野	は自然に恵まれ、水源かん養や国 くの重要な機能を持っている。しか と中山間地域であり、過疎・高齢化 や集落の存続について危機的な物で 」と銘打ち、水源の里の振興を市る。 化を図るため、、「綾部市水源の 離 市役所から25km以上、2.高 満、4.位置 水源地域■水源の里 地域振興と活性化、2.水源の里 環境の保全、安らぎの場、3.綾部 ■時限条例:平成19年4月1日~	いと状の里場型の市
人材・組織区分	行政			
人 材・組 織 名 称	綾部市			
事 業 区 分	市			
事業 内容	「綾部市水源の里条例	」に基づき、150万円:	を限度に1/2を補助	
技 術 内 容	綾部市単独の補助金「	水源の里基金」の利	用	
集落資産·資源1	空家	集落資産	・資源2	
集落資産・資源3		集落資産	・資源4	
集落資産・資源5		J		
九州内外	外	地域	分 類 中山間地域	
都道府県	京都府	市町	村綾部市	
文 献 名				
U R L	http://www.city.ayabe.	kyoto.jp/view.rbz?nd	=183&of=1&ik=1&pnp=48&pnp=18	3
画像ファイル名				

	知恵	袋	集	
事例コード	007			
大 分 類	コミュニティ・交流			
小 分 類	定住促進			
内容	定住者希望者への給付金			
説明	小規模高齢化集落への定	住希望者へ時限約	合付金を支給している。	
詳細	■水源地域は、美しい水や土の保全、心をいやす安地にのような地域は市街民のが進み、そこに住む市市原が温点施策と位置づけて、の里条例」を制定。■水源の里の存得が進入、水源の里の存得ができる、1.水源の里の存得で、水源の人の発展住民福祉の向上、よりでは、1.水源の上、よりでは、1.水源の上、よりでは、1.水源の上、よりでは、1.水源の上、よりでは、1.水源の上、よりでは、1.水源の上、よりでは、1.水源の上、よりでは、1.水源の上、よりでは、1.水源の上、よりでは、1.水源の上、よりでは、1.水源の上、よりでは、1.水源の上、よりでは、1.水源の上、1.水源には、1.水源には、1.水源には、1.水源には、1.水源には、1.水源の上、1.水源には、1.水源	ぎの場など、多く(から遠くはなれた) 暮らしそのものや はを「水源の里」。 域の振興と活性(の位置付、1.距离 き帯数 20戸未満 も過疎に歯止め、まままではできます。	の重要な機能を持ってい中山間地域であり、過疎 中山間地域であり、過疎 集落の存続について危 と銘打ち、水源の里の振 とを図るため、、「綾部市 でを図るため、「綾部市 は一つででは では、4.位置 水源地域■水地域振興と活性化、2.水 境の保全、安らぎの場、	る。高的を ・機興水上、源の ・機興水上、源の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
人材・組織 区分	行政			
人材・組織名称	綾部市			
事 業 区 分	市			
事業内容	「綾部市水源の里条例」に 限度)	基づき、定住支援	給付金(1月5万円、12	か月を
技術内容	綾部市単独の補助金「水源	の里基金」の利用	Ħ	
集落資産・資源1	空家	集落資産・	資源 2	
集落資産・資源3		集落資産・	資源 4	
集落資産・資源5				
九州内外	外	地域が	海 類 中山間地域	
都 道 府 県	京都府	市町	村綾部市	
文 献 名				
U R L	http://www.city.ayabe.kyot	o.jp/view.rbz?nd=	183&of=1&ik=1&pnp=48&	pnp=18
画像ファイル名				

	知 恵	袋	集
事例コード	008		
大 分 類	生活サービス		
小 分 類	交通対策		
内 容	バスによる住民の移動	手段の確保	
説明	中山間地域居住者に対を確保している	けして、行政が自家用	月有償運送により住民の移動手段
詳	落があり、各集落と中心が減少する中で豊前市難な状況にあった。「豊のためのバス路線の確成14年の答申におい金を廃止し、豊前市のした。■導入バス費用ロバス2台(900万円×2	込市街地を結ぶ路線 による赤字補填も年 前市地域バス路線対 【保策についての継絡 て、平成14 年度以降 自主運行を開始する 15人乗りバン3台(2 付管理者も原則的に	南側の山間地では4 つの谷間に身 バスが運行されていたが、利用者 と々増大し、路線バスの存続が困 対策協議会」を設置して、地域住民 続的な協議・検討がなされたが、平 は、路線バスの維持のための補 にとが提言され、自主運行を開始 270万円×3台)、29人乗りマイク クロバス1台(h5購入、630万円=ス は、一ト採用(市採用の場合は半 離制(最大600円)
人材・組織区分	行政		
人 材・組 織 名 称	豊前市		
事 業 区 分	市		
事業 内容	旧道路運送法81条に基	でづく白ナンバー有償	運行
技 術 内 容	地方公共団体単独運行	ī	
集落資産・資源1	自家用車	集落資産・	・資源 2
集落資産・資源3		集落資産・	• 資源 4
集落資産・資源5			V 2
九州内外	内	地域	分 類 中山間地域
都 道 府 県	福岡県	市町	村豊前市
文 献 名			
U R L	http://www.mlit.go.jp/s	ogoseisaku/transpor	rt/pdf/091_buzen.pdf
画像ファイル名			

	知 恵 袋 集	
事例コード	009	
大 分 類	生活サービス	
小 分 類	交通対策	
内容	乗合タクシーによる住民の移動手段の確保	
説 明	行政が中山間地域の公共交通空白地域と、市街地や町なか 予約制の乗合タクシーを運行している。	とを結ぶ、事前
詳 細	■菊池市における公共交通空白地域と市街地や町なかとを終制の乗合タクシーであり、地域に必要不可欠な生活交通の確る。前日までに予約が必要だが、時間帯を選ぶことができ、自てくれるので、自宅から直接、市街地にある市役所や病院などきる。■高額な運行システムを購入せずに、通常のタクシー事で対応している。予約センターを新たに設置せず、事業者の限ペースや空き店舗等、身近なスペースで事業を行っているため費用や維持費がかかっていない。地元タクシー3社で4ヶ月ず片道1人当たり200円~1,200円。	保を行ってい 記まで迎えに来 に行くことがで 業業のノウハウ 既存の事務所ス め、事務所設置
人材・組織区分	· · 行政	
人材·組織名称		
事業区分	市	
	タクシー補助金	
技 術 内 容	タクシー運行ノウハウ	
集落資産・資源3	集 落 資 産・資 源 4	
集落資産・資源5		
九州内外	 内 地 域 分 類 中山間	地域
都 道 府 県	熊本県 市 町 村 菊池市	
文 献 名		
U R L	http://www.city.kikuchi.kumamoto.jp/cgi-bin/odb-get.exe?WI	T_template=AC0
画像ファイル名		

知 恵 袋 集 事例コ - k 010 分 生活サービス 大 類 分 小 類 交通対策 内 容 NPO運行バスによる住民の移動手段の確保 明 鳥取県倉吉市高城地区において、NPO運行の白ナンバー有償運行バスが 説 集落内における高齢者・障害者等の自宅とバス停を結んでいる。 詳 ■ 倉吉市高城地区は、地形的に集落の多くが谷筋に沿って点在しており、路 ■ 后口川同州地には、地川川に来浴の多、小台朋に石つては任してあり、路線バスの走らない枝谷地区が9集落存在している。これら集落の高齢者等は、通勤や買い物などにバスを利用するためには、最寄のバス停まで2~3kmも歩かなければならず、日常生活に極めて不便を強いられていた。そこで、これらの集落、■電光対象・まるが、発売しまると、 NPOが導入。■運送対象:あらかじめ登録した会員(H16年現在131名)とし、会員は自宅から路線バスの停留所まで相当の距離があり、公共交通機関の利用が困難な移動制約者■運送区域:倉吉市高城地区内、運転者:会員のボランティア運転手、使用車両:法人の下14万円では、運転しての日間、路線:法人の下14万円では、10万円である。 運送回数:月・水・金の昼間、路線バスの下り4便に対応し、降車した会員を自宅まで運送している。■市が廃車とした公用車三台を譲り受け、『ボランティ 人材·組織区分 NPO 人 材・組織名称 NPO法人たかしろ 区 分 NPO 内 業 容 旧道路運送法80条に基づく白ナンバー有償運行 技 術 内 容 NPO会員のボランティア運転手 集 落 資 産・資 源 1 自家用車 集落資産・資源2 集落資産・資源3 集 落 資 産 · 資 源 4 集落資産・資源5 九 州 内 外外 地 分 類 中山間地域 道 府 県 鳥取県 町 村 倉吉市 都 市 文 献 名 U L http://www.city.kurayoshi.lg.jp/photolib/shiminsankaku/990.pdf R 画像ファイル名

知 恵 集 事例コード 011 分 大 類 コミュニティ・交流 分 小 類 定住促進 内 容 農業を志す定住希望者への研修 明 農業を志す定住希望者へ、第3セクター方式の農業法人「有限会社 かみな か農楽舎」による2年の研修制度。3年目には、社員コースか、新規就農コー スに分かれて、本格的に就農する。 詳 学者向けた、夏休みを中心に1週間~1か月の農業就業体験の場。農業を志 子有向けた、夏休みを中心に「週間~「か月の展末就業体験の場。展業を心す学生・農業に興味のある学生・農業を通して社会勉強をしたい学生等を受け入れる間口の広い実習コース。■ 体験学習事業:1.月1回・週末一泊二日を基本とした通年事業。農を中心に海・山も素材とした体験学習で、親も子供も楽しめるプログラム。2.保育所・学校等の団体向けに体験事業。平日・日帰りが基本。3.週末・長期休暇に行う単発企画■ 他に、農業生産事業、直販事 人材・組織区分第3セクター 人 材・組織名称 農業法人「かみなか農楽舎」 分町 区 業 内 容 日本住宅金融公庫 農林水産事業 技 術 内 容 農業技術 集 落 資 産・資 源 1 農地 集落資産・資源2 集落資産・資源3 集 落 資 産 · 資 源 4 集 落 資 産 · 資 源 5 九 州 内 外外 地 分 類 中山間地域 道 府 県 福井県 市 町 村三方上中郡若狭町 都 名 「集落支援ハンドブック」現代農業2008年11月増刊 文 U R Lhttp://www.nouson-kaminaka.com/ 画像ファイル名

知 恵 袋 集 事例コード 012 分 類 大 地域産業・経済 分 小 類 農業振興 内 容 農業を志す定住希望者への研修 明 農業を志す定住希望者へ、第3セクター方式の農業法人「有限会社 かみな か農楽舎」による2年の研修制度。4年目には、社員コースか、新規就農コー スに分かれて、本格的に就農する。 詳 学者向けた、夏休みを中心に1週間~1か月の農業就業体験の場。農業を志 子有向けた、夏休みを中心に「週間~「か月の展末就業体験の場。展業を心す学生・農業に興味のある学生・農業を通して社会勉強をしたい学生等を受け入れる間口の広い実習コース。■ 体験学習事業:1.月1回・週末一泊二日を基本とした通年事業。農を中心に海・山も素材とした体験学習で、親も子供も楽しめるプログラム。2.保育所・学校等の団体向けに体験事業。平日・日帰りが基本。3.週末・長期休暇に行う単発企画■ 他に、農業生産事業、直販事 人材・組織区分第3セクター 人 材・組織名称 農業法人「かみなか農楽舎」 分町 区 業 内 容 日本住宅金融公庫 農林水産事業 技 術 内 容 農業技術 集 落 資 産・資 源 1 農地 集落資産・資源2 集落資産・資源3 集 落 資 産 · 資 源 4 集 落 資 産 · 資 源 5 九 州 内 外外 地 分 類 中山間地域 道 府 県 福井県 市 町 村三方上中郡若狭町 都 名 「集落支援ハンドブック」現代農業2008年11月増刊 文 U R Lhttp://www.nouson-kaminaka.com/ 画像ファイル名

		知 恵	袋	集	
事例コ	— F	013			
大 分	類	地域産業·経済			
小 分	類	援農活動			
内	容	NPOによる援農活動			
説	明	NPOが、援農活動を中地等のSOSに対して可		古民家等、管理できなくる。	なった土
詳	細	の援農手配につき、負実費、他に年会費3,00 Oの法人活動内容は、ターン受入。■NPOの保険を適用。毎月広報員:定年なしの社会人:適用。毎月広報誌「や費1口1万円。1口につき	担は有償活動費・手 0円。毎月広報誌「や 援農活動、農地再生 大学生会員:年会費 誌「やっほー&かけ 会員。年会費3,000円 っほー&かけはし」を き、年に1回旬の農産	遣する。援農依頼する農 数料合せて750円程度。 つほー&かけはし」を送 、農業経営者募集、農 1,000円。活動中はNPO はし」が送付。■NPOの 。活動中はNPO有償活! 送付。■NPOの賛助ら「 物送付。毎月広報誌「「 費1口1,000円。毎月広報	交通費以 ・
人材・組織	敞区分	NPO			
人材・組織	微名 称	NPO法人「学生耕作隊	ξJ		
事業	区 分	NPO			
事業F	为 容	援農活動			
技 術 卢	9 容	農業技術			
集落資産・	資源1	農地	集落資産	・資源2	
集落資産・	資源3		集落資産	・資源4	
集落資産・	資源5		J		
九州	9 外	外	地域	分 類 中山間地域	
都 道 府		山口県] 市 町	村山口市	
文献	名				
U R	L	http://www.socio.gr.jp/	[/] ennou/		
画像ファイ	,ル名				

知 恵 集 事例コ - k 014 分 類 大 地域産業·経済 分 小 類 援農活動 内 容 ボランティアによる援農活動 明 唐津市相知町蕨野集落おいては、ボランティア「手間講隊」が棚田への援農 活動を実施している。 ■「手間講隊」活動内容(佐賀大学を中心とするボランティア組織):援農(耕作放棄地の復田をはじめとした農作業全般)、水田:夢しずく、古代米の有機栽培、季節の野菜の有機栽培(市民農園的利用を検討中)、果樹園:ブルーペリーなど、交流(農業の手ほどき、地元の祭り、棚田イベントへの参加)、研究(有機栽培実験、新規作物導入、棚田を生かした地域おこり)■ 入場替格 詳 は、棚田の持つ多面的で公益的な働きや上記の活動内容の趣旨に賛同する 人。性別、年齢、居住地は問わず、ちびっこ、学生、市民、だれでも隊員になれる■ 入隊費(年会費)500円(連絡費、ニューズレター発行費)■ 事務局: 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学農学部3号館 地域資源学研究室 人材・組織区分大学 人 材·組織名称 唐津市相知町·蕨野棚田援農隊「手間講隊」(佐賀大学中心) 区 分 民間 業 内 容 援農活動 技 術 内 容 農業技術 集 落 資 産・資 源 1 棚田 集落資産・資源2 集落資産・資源3 集落資産·資源4 集 落 資 産・資 源 5 九 州 内 外内 地 分 類 中山間地域 道 府 県 佐賀県 市 町 村 唐津市 都 献 文 名 U R http://www.pref.saga.lg.jp/sy-contents/shigoto/nogyo/tanada/ikou/voluntee 画像ファイル名

知 恵 集 例コ - k 015 分 類 大 地域産業・経済 分 小 類 農業振興 内 容 棚田、そば、大豆オーナー制度 説 明 棚田の保全と地域農業を活性化させるために、棚田所有者と地域の若手農 業者が中心となり、都市部の消費者と地域住民との交流事業を行っている。 詳 ■中山間地域である当地区に長崎県佐世保市と伊万里市を結ぶ、国見有料 ■中山間地域である当地区に長崎県佐世保市と伊万里市を結ぶ、国見有料道路が開通し、都市部への交通の便が向上したことで、雇用による農外収入の割合が高まると同時に地域農業の担い手は減少し、また、担い手の高齢化の進行とともに、耕作放棄地も徐々に増加してきた。このため、棚田を保全するための取組を検討していたところ、H8年に「全国棚田サミット」が西有田町で開催されたことがきっかけとなり、岳地区の若手農業者が立ち上がり「棚田米オーナー制度」に取り組むこととになった■棚田オーナー(有機栽培米):体験型 35,000円/1口(100m2)50kgの収穫米を贈呈、保全出資型 9,230円 8kgの白米贈呈(棚田保全資金含)■ そば・大豆オーナー(有機農産物): そば5,000円/1口(100m2)みそ・豆腐作り可■「毎年、田植え、稲刈り、脱穀、年末にはもちつきなど、農業体験に 人 材・組織区分 住民団体 人 材·組織名称 岳信太郎棚田会 分町 区 業 内 容中山間地域総合整備事業を利用した農村体験施設「棚田館」及び「西有田町 国見棚田公園」 技 術 内 容棚田、そば、大豆のオーナー制度 集 落 資 産・資 源 1 棚田 集落資産・資源2 集落資産・資源3 集 落 資 産 · 資 源 4 集落資産・資源5 九 州 内 外内 地 分 類 中山間地域 道 府 県 佐賀県 市 町 村 松浦群有田町 都 献 文 名 U L http://www.maff.go.jp/kyusyu/jyouhou/genchi/tokutei/20051031_4/1704det R 画像ファイル名

知 恵 集 例コ - k 016 分 類 大 コミュニティ・交流 分 小 類 都市交流 内 容 棚田、そば、大豆オーナー制度 説 明 棚田の保全と地域農業を活性化させるために、棚田所有者と地域の若手農 業者が中心となり、都市部の消費者と地域住民との交流事業を行っている。 詳 ■中山間地域である当地区に長崎県佐世保市と伊万里市を結ぶ、国見有料 ■中山間地域である当地区に長崎県佐世保市と伊万里市を結ぶ、国見有料道路が開通し、都市部への交通の便が向上したことで、雇用による農外収入の割合が高まると同時に地域農業の担い手は減少し、また、担い手の高齢化の進行とともに、耕作放棄地も徐々に増加してきた。このため、棚田を保全するための取組を検討していたところ、H8年に「全国棚田サミット」が西有田町で開催されたことがきっかけとなり、岳地区の若手農業者が立ち上がり「棚田米オーナー制度」に取り組むこととになった■棚田オーナー(有機栽培米):体験型 35,000円/1口(100m2)50kgの収穫米を贈呈、保全出資型 9,230円 8kgの白米贈呈(棚田保全資金含)■ そば・大豆オーナー(有機農産物): そば5,000円/1口(100m2)みそ・豆腐作り可■「毎年、田植え、稲刈り、脱穀、年末にはもちつきなど、農業体験に 人 材・組織区分 住民団体 人 材·組織名称 岳信太郎棚田会 分町 区 業 内 容中山間地域総合整備事業を利用した農村体験施設「棚田館」及び「西有田町 国見棚田公園」 技 術 内 容棚田、そば、大豆のオーナー制度 集 落 資 産・資 源 1 棚田 集落資産・資源2 集落資産・資源3 集 落 資 産 · 資 源 4 集落資産・資源5 九 州 内 外内 地 分 類 中山間地域 道 府 県 佐賀県 市 町 村 松浦群有田町 都 献 文 名 U L http://www.maff.go.jp/kyusyu/jyouhou/genchi/tokutei/20051031_4/1704det R 画像ファイル名

1		知 恵	袋	集
事例コー	– F	017		
	, Ver			
大 分 小 分	類類	地域産業・経済 地域特産品開発	5104103334033103453555	
内	容	特産酒類の製造		
説	明	特区制度を利用し、地酒・リキュールによるよく等を製造提供し、都	也域ブランドづくりを進	農産物を用いて小ロッドの果実 め、農家民宿等で果実酒、どぶろ 図る。
詳	細	で第1号となるどぶろく 農薬でのコメ栽培など 野菜を使った料理を扱 さんは「免許取得は農	〈製造免許を平成20년 に取り組んでおり、平 提供する「森の宿泊レン	なを経営する後藤清幸さんが県内 〒1月23日に取得。後藤さんは無 成18年12月には収穫したコメや ストランサリモス」を開業。■後藤 取り組んだ。地域が元気を出せる
人材・組織	战区分	行政		
人材・組織		SACRES SECTION OF THE SECTION OF THE SEC		
# \\ F	÷ /			
	区 分 容	特区法	CAMPONE NO DESERVA	
· 李···································) 谷	行企丛		
技術的] 容	酒類の製造		
集落資産・資	資源1	酒類の原料	集落資産	・資源2 酒類の製造装置
集落資産・	資源3		集落資産・	資源 4
集落資産・	資源5			
九州内	」 外	内	地域	分 類 中山間地域
都道府		大分県	市町	村竹田市
文献	名			
U R	L	http://www2.city.take	ta.oita.jp/oshirase/co	lumn2/soumu/1201569373.html
画像ファイ				

1		知	Ī.	袋	集
事例コー	ド	018			
大 分	類	コミュニティ・交流			
	類	都市交流	Yang ang Kanada	OFF PARTIES AND STATES	
内	容	農家民泊等			
	- 明		農家民泊等(1	の宿泊型の	グリーンツーリズムを振興し、都
<i>p</i> 1	7.	市との交流促進を図			
詳	細	き特区」の認定を受性化を行っている。 性化を行っている。 設立され、豊かな自 ツーリズムを本市に 成16年度から地域 してきた。このような 8年2月に2名の会	け、現在グリー 平成17年には MX、歴史、文化 定着・発展され でくりインター で中、人吉市で 員が同時に、 11月に新たじ	ーンツーリス は、人吉市/ 化などの資 せ、地域の ン事業や会 は初の農り また18年6	森林の郷(もりのくに)農林業げん ズムの推進による地域農業の活 ブリーンツーリズム推進協議会が 源を有効活用しながら、グリーン 活性化を図ることを目的として、平 会員相互の交流、研修会など実施 家民宿施設の開業許可を、平成1 月と19年1月に2名取得すること けることができ、現在5軒の農家民
人材・組織 🛭	区分	行政			
人材・組織名	3 称	人吉市			
事業区	分		Martin Control	11-12-10-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-	UNIONES EN EUROPE SON EN EUROPE
事業内	容	特区法			
技 術 内	容	農家民泊			
集落資産・資源	原 1	民泊施設	作 :	落資産・	資源 2.
集落資産·資 ¹		~ √10 0X	and the second	格員座・落資産・	
集落資産・資				FU 34 /E	
九州内	外	内	地	域	分類中山間地域
都道府		熊本県	市	町	村人吉地域
文献	名				
U R	L	http://www.maff.go	jp/kyusyu/jyo	uhou/genc	hi/gen1703/14.pdf
画像ファイル					

	知 恵	袋	集	
事例コード	019			
大 分 類	地域産業·経済			
小 分 類	農業振興			
内容	農業生産法人以外の活	去人の農業への参入		
説明	特区においては、株式又は農地保有合理化治		大以外の法人が、地方公 昔できる。	共団体
詳	定)では、建設業等の介 組み、山間部の過疎地マイモ畑とした。初年度 た上で、地元建設会社たっては、借受けた建 が、病害発生を防止す 作目はサツマイモであ イモの出荷は、地元酒 的に全量納入できるな	企業の農業参入を可能の耕作放棄地を芋焼い大口市は約1haのと と栽培協定を締結した と栽培協定を締結した 設会社が自社所有のる観点からバックホーリ、植付けを5月から どメーカーの品質基準 と品質も確保できた。	物生産振興特区(平成164 能にする「農地リース特区」 語対ブームによる原料不足ら 採草放牧地を所有者から信 貸付けた。耕作放棄地の再 重機や従業員等を活用しま にな深は11月に行った。 に適合する必要があるが 2年目の取り組みとして、 ている。また、初年度の1	にサイン のサイン は は は は は い い い い い い い い い い い い い い
人材・組織区分	事業者			
人材・組織名称	(株)藤井建設、自動車	販売整備業の有限会	注 社	
事 業 区 分	国			
事業内容	特区法			
技 術 内 容	農業技術			
集落資産・資源1	耕作放棄地	集落資産・	答 湄 2	
集落資産·資源3	11 11 11 12 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15	集落資産・		
集落資産·資源5				
九州内外	内	地域:	<mark>分 類</mark> 中山間地域	
	鹿児島県	市町	村大口市	
文 献 名				
U R L	http://www.maff.go.jp/	j/nousin/tikei/houkiti	/h_jirei/pdf/7_18.pdf	
画像ファイル名				

		知	恵	袋	集		
事例コー	ド	020	<u>)</u>				
大 分	類	国土保全					
小 分	類	景観形成	HAMINETER BETTER				
内	容	景観作物による	景観作物による農地の有効活用				
説	明	景観作物による	耕作放棄地の	解消に取り糸	且み、観光客を集める。		
詳	細	ふるさと旅行村 に隣接する農地 高原町では、景 る場所づくりをす	などがあり、観: むが不作付となり 観作物による表 けることとし、68	光の拠点となり、遊休農地 け、遊休農地 け作放棄地の はアールの農	(万農業公園アグリピア、久たっているが、近年、ふるさと化が懸念されていた。そこでの解消に取り組み、観光客が地にコスモスを播種し、秋に。春には菜の花が満開とな	た旅行村で、久万 が楽しめ には多く	
人材・組織	区分	行政					
人材・組織	名称	上浮穴郡久万高	高原町				
事業区	分	町					
事 業 内	容	遊休農地再生活	5動実践スター│	>支援事業			
技術内	容	農業技術					
集落資産・資	源 1	耕作放棄地	1	集 落 資 産	・ 沓 源 2		
集落資産・資				集落資産			
集落資産・資					A 10 1		
九州内	外	bd		也 域	分 類 中山間地域		
都道府		愛媛県	STATE OF THE STATE	也	村 上浮穴郡久万高	原町	
文 献	名				[4] (= (37 Vier V/2) [4]		
U R	L	http://www.pref	f.ehime.jp/h361	80/khtaisaku	ı/mat04.html		
画像ファイ	ル名					5	

	知 恵	袋	集	
事 例 コ ー ド	021			
- 八 短	地域産業・経済			
大 分 類 小 分 類	農林水産業振興			
内容	海士ファン・バンク制度			
説 明		坦計典字。の姿全学	付制度。畜産業(肥育ではな	
ניפי מקא			刊	
詳	集し、出資金を集め(1口 則7年後に一括返済。一 毎年、春夏秋冬の4回に た人(借受者)は畜産業	50万円)、その人が 方畜産を始めた人(信 渡り、海士町の新鮮 が軌道に乗ってから、	もよいという人を全国から広く募 畜産を始められるようにする。原 普受者)は、資金提供者に対し、 な農産物を届ける。畜産を始め 出資者(海士ファン)へと資金の 場合、海士町が損失を保証する。	
	士ファン・バンク」をたちる 条に抵触するとの指導が	あげたが、管内財務事 「あり、貸出者である	象に金銭貸借の媒介を行う「海 事務所から貸金業規制法の第二 都市住民に貸金業の登録をさせ うち切られた。その後、町から金	
人材・組織区分	行政			
人材・組織名称	隠岐郡海士町			
事 業 区 分	囲工			
事業 内容	海士ファン・バンク H18:	年より事業開始		
技 術 内 容	金銭貸借の媒介			
集落資産・資源1	農地	集落資産・	資源 2	
集落資産・資源3		集落資産・資	資源 4	
集落資産・資源5				
九州内外	外	地域分	· 類 離島	
都 道 府 県	島根県	市町	村隱岐郡海士町	
文 献 名				
U R L	http://www.mlit.go.jp/cro	d/chirit/pdf/amafanb	ank.pdf	
画像ファイル名				

知 恵 袋 集 事例コ - k 022 分 類 大 コミュニティ・交流 分 小 類 都市交流 内 容 特区における廃校舎利用の通信制高校 明 廃校となった熊本県上益城郡山都町目丸地区の白糸第3小学校を㈱テドポ オト社(本社・福岡市)が広域通信制高校「一ツ葉高等学校」とする。 ■「潤い、文楽、そよ風でつづるまちづくり特区」(教育特区)により、学校設置会社が廃校を利用して学校を設置。スクーリングなどの機会を通じて地域の社会的資源や地域人材を活かした教育を提供し、地域コミュニティーの活性化を図るとともに、農林業などの後継者の確保や定住促進をし、地域の活性化を図る。■学校設置会社である株式会社デドポオトグループは、学校表面を経過を開いる。■学校設置会社では、学校表面を発展する。 詳 細 に a 凶 a 。 ■ 子牧 取 単 云 t 、 で の a 体 t 云 t て ア ト ア カ ト ク ルー ノ は 、 学 首 塾 「 筑 紫 修 学 館 」 、 通信制 高 校 「 日 比 谷 学 園 高 等 部 」 など を 経 営 。 他 に 、 熊 本 県 天 草 市 御 所 浦 町 (離 島) で は 、 御 所 浦 町 教 育 特 区 と し て 、 株 式 会 社 清 風 学 園 グ ル ー プ が 、 広 域 制 通 信 高 校 で あ り 全 国 ど こ か ら で も 入 学 で き る 新 し い タ イ プ の 通 信 制 高 校 「 勇 志 国 際 高 校 」 の 本 校 を 開 校 し て い る 。 人 材・組織区分事業者 人材・組織名称機デドポオト社 分国 区 業 内 容 特区法 技 術 内 容 学校運営 集 落 資 産・資 源 1 廃校 集落資産・資源2 集落資産・資源3 集 落 資 産 · 資 源 4 集 落 資 産 · 資 源 5 九 州 内 外内 地 分 類 中山間地域 道 府 県 熊本県 市 町 村 上益城郡山都町 都 献 文 名 U R http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kouzou2/kouhyou/080331/dai16/15.pdf 画像ファイル名

	知 恵	袋	集	
事例コード	023			
大 分 類	コミュニティ・交流			
小 分 類	都市交流			
内容	特区における学校設置会	社による学校設置		
説明	株式会社による単位・通 の不登校生や高校中退: と村民との交流により、教	者等のニーズに応え	るとともに、各地より	置し、地域 集まる生徒
詳	■南阿蘇村教育特区とし業」を活用し、農林業従事り入れた特色ある教育をループは、学習塾や不登づ」などを経営。	『者から学ぶ体験学 実施する。■学校設	習や、地域ボランティ (置会社である(株)ふり	ア活動を取 リーだむグ
人材・組織 区分	事業者			
人材・組織名称	(株)ふり一だむ			
	国			
事業内容	特区法			
技術 内容	学校運営			
集落資産・資源1	空地	集落資産・	資源 2	
集落資産・資源3		集落資産・	資 源 4	
集落資産・資源5				
九州内外	内	地域が	類 中山間地域	
	熊本県	市町	村阿蘇郡南阿	蘇村
文 献 名				
U R L	http://www.kantei.go.jp/j	p/singi/kouzou2/ko	uhyou/041208/dai6/0	085toke.pdf
画像ファイル名				

	知 恵	袋	集
事例コード	024		
大 分 類	コミュニティ・交流	nogaras kasalang kanasasa	
小 分 類	コミュニティ活性化		
内容	空き家を活用した地域	の活性化	
説明		家に県内外の芸術家	内の空き家対策として、「迎賓館」 家に住んでもらう取り組みを平成1
詳細	のギャラリーで個展を 家を入居させている。2 家、陶芸家、写真家、知 組を通して、集落全体の	開き地域の文化向上 2007年7月現在、石 ゴラス作家)が柳谷集 の文化向上や活性化	だん」に改装して、3ヶ月に1回、こに貢献することを居住条件に芸術に貢献する出県等の芸術家6人(画落の迎賓館に住んでおり、この取らへ繋げていくことが期待されてい度に4家族がUターンしている。
人材・組織区分	住民団体		
人材・組織名称	柳谷町内会		
事 業 区 分	住民		
事業内容	町内会活動		
技 術 内 容	不動産活用		
集 落 資 産・資 源 1	空家	集落資産	・資源 2
集落資産·資源3		集落資産・	
集落資産・資源5			
未份其庄 其协 0			
九州内外			分 類 中山間地域
都 道 府 県	鹿児島県	市町	村鹿屋市
文 献 名			
U R L	http://www.maff.go.jp/	j/nousin/nousei/e-m	nag/pdf/028.pdf
画像ファイル名			

	知 恵	袋	集	
	224			
事例コード	025			
大 分 類	地域産業・経済	TAGESTON AND SECTION AND SECTI		
小 分 類	地域特産品開発			
内容	町内会が自主財源確保	果のために特産品を製	製造∙販売	
説明	鹿児島県鹿屋市串良町域を自分たちの力でつの生産や、生ごみや畜落の運営費を捻出して	産ふん尿の発酵処理	改に頼らず「安心しで 注活用したでんぷん。 理用の土着菌を製造	に暮らせる地 用サツマイモ ⅰ・販売し、集
詳細	■土着菌堆肥で育てた 使った商品づくりを行い 報装置や全戸への防う めの「寺子屋」の運営、 を行い、行政に極力頼 余剰金が約400万円さ りに貸し出す手押し車	いWebで販売し、益金 心ベルの設置をはじめ 昔の日常品を集めた らない独自の集落づ あり、住民たちは余剰	により、独居老人写 か、子供たちの学力 こ「お宝歴史館」等集 くりを進めている。■ 金の一部で足腰が	ミへの緊急警 向上を図るた 薬客の施設設備 ■H20年度は 弱ったお年寄
人材・組織 区分	住民団体			
人材・組織名称	柳谷町内会			
事業区分	住民	THE STREET WATER TO STREET	n Maria de Carlos de La Carlos de Ca	
	町内会活動			
		SASTINGS IN TERMINOPHRIDAY NORTH		
技 術 内 容	農業技術			
	1 # 1	1 4 4 4 4 4	W- N-	
集落資産・資源1	農地	集落資産・		
集落資産・資源3		集落資産・	資源 4	
集落資産・資源5				
九州内外	内	地域	分 類 中山間地	2域
都 道 府 県	鹿児島県	市町	村鹿屋市	
文 献 名				
U R L	http://www.yanedan.co	om/katudou.html		
画像ファイル名				

	知 恵	袋	集
事例コード	026		
大 分 類	コミュニティ・交流		
小 分 類	定住促進		
内容	NPOと行政の協働事業による	る空き家バンク	
説明	佐賀県武雄市では、過去104 武内町・西川登町)を対象と 受け、空き家バンクに登録さいる。	した定住促進策として	、NPO法人が市の委託を
詳細	■NPO法人は地域保全や資査を行い、活用の方向を提案い、持ち主と利用者のマッチ情報の収集・発信による地域の空き家バンクシステムや「の定住を促進している。	₹。委託管理なども行 ングシステムを作りよ は交流の活性化を図っ	いながら継続的に事業を行け、過疎地域の環境改善と いている。また、Web上等で
人材・組織区分	CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR O		
人 材・組 織 名 称	NPO法人「循環型たてもの研	究塾」	
事 業 区 分	市		
事業 内容	「定住特区補助金」、「空き家	情報登録制度(空き)	家バンク)」
技 術 内 容	ICT技術、不動産管理		
集 落 資 産・資 源 1	空家	集落資産・資源	£ 2
集落資産・資源3		集落資産・資源	₹ 4
集落資産・資源5			
+ 14 + 6	l d i	파 6P /	将 中山 周 地 是
九 州 内 外 都 道 府 県	佐賀県	地 域 分 市 町	村 武雄市
文 献 名			A autr-1.
U R L	http://inakanoie.com/akiya/a	akiya—hank h+ml	
画像ファイル名	incep.//inananoie.com/aniya/a	aniya balin.iiulii	

	知 恵	袋	集	
事例コード	027			
大 分 類	コミュニティ・交流			
小 分 類	コミュニティ活性化	negative valuation (a selector		
内容	小規模集落元気作戦			
説明	兵庫県では、人口が減性化に向けた住民の主開しており、その一環と都等)の団体やグルー	体的な取組を支援する して、持続可能な交流	「る「小規模集落」	元気作戦」を展
詳	■ 兵庫県内の9市町の募集■ 初年度は、お記①「集落が都市住民を参加など)。②「集落が開催など)	迎えて行う交流活動!	トライやる」として 1(例:農作業体験	2種類を予定。 、地元の祭への
人材・組織区分	行政			
人材·組織名称	兵庫県			
事 業 区 分	県			
事 業 内 容	小規模集落元気作戦、 円	事業期間は3年間、社	刃年度のH20年度	予算20,000 千
技 術 内 容	都市交流			
生状次立 次派 1	曲地	## * #* **	淡海の歯状物	
集落資産·資源1 集落資産·資源3	農地 白妖早知		資源2農作物	
	日	」 集落資産・ □	頁 / 保 4	
集 落 資 産・資 源 5				
九州内外	外	地域:	分 類 中山間	地域
都 道 府 県	兵庫県	市町	村	
文 献 名				
U R L	http://shoukiboshuural	ku.web.fc2.com/		
画像ファイル名				

	知恵	袋	集
事例コード	028		
大 分 類	コミュニティ・交流		
小 分 類	コミュニティ活性化		
内 容	五島市心のふるさと市	民~バーチャル五島	市~
説明			「暮らす人や五島のファンが「心の う」を市から毎月知らせる。
詳 細	よる交流の場を設けて基本的には無料だが、料分を年間1,000円は、「五島市心のふるる人し五島市豊かな島づチャル五島市役所からら、手続き完了■ 心の	、来島しやすく、意見 五島市からのお知ら が必要となる。■「心 とで市民」住民登録申 くり市長公室内バー 「五島市心のふるさん いふるさと市民の交流	ごスなどの特典やインターネットに を出しやすい環境を整えている。 をせなどを郵送で受け取る場合は送 のふるさと市民」になるために 請書(様式第1号)に必要事項を記 手ャル五島市役所へ送付、バー と市民」住民票(カード)が届いた の場として、Web上の「GOTOか ティ「心のふるさと市民」を設けて
人材・組織区分	行政		
人材・組織名称	STREET,		
事業区分	行政		
	「心のふるさと市民」制	度 H19年より事業開	影 始
技 術 内 容	ICT技術		
集落資産・資源1	ブロードバンド	集落資産	・資源2インターネット利用技術
集落資産・資源3		集落資産	• 資源 4
集落資産・資源5			
九州内外	内	地域	分 類 離島地域
都 道 府 県	長崎県] 市 町	村 五島市
文 献 名			
U R L	http://www.city.goto.na	agasaki.jp/pc/kokoro	no_furusato/index.html#03
画像ファイル名			

	知 恵	袋	集			
事例コード	029					
大 分 類	コミュニティ・交流					
小 分 類	コミュニティ活性化					
内容	地域SNS					
説明	Web上でのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サイト)を生かし、ローカルエリアでの人々のネットワーク、絆を活性化させようとする動きが、2005年頃から盛んになっており、九州各地でも多くのサイトがあり、八代市はその先駆けである。					
詳細	■「地域SNS」と呼ばれる実社会に密着したウェブ上のコミュニケーションツールは、これまで点在していた地域の人々や各種サークルを有機的に結び、そこで生じたシナジーにより、地域社会の活性化、問題解決といった成果を生み出しつつある。■八代市は全国に先駆けてインターネットを活用したソーシャル・ネットワーキング・サービスを自治体で初めて導入し、地域コミュニティの活性化を促進し、情報通信技術の利活用の推進に多大な貢献があったということで、H18年に九州総合通信局長表彰を受けている。。					
人材・組織区分	行政					
人材・組織名称						
事 業 区 分	市					
事業内容	ごろっとやっちろ(サイト名称)					
技 術 内 容	ICT技術					
集 落 資 産・資 源 1	ブロードバンド	生 拔 迩 产	資 源 2 インターネット利用技術			
集 落 資 産・資 源 3 集 落 資 産・資 源 3		集落資産				
集落資産·資源5		」 未俗具座:	· 具 // **			
九州内外	内	地域	分 類 中心市街地			
	熊本県	市町	村八代市			
文 献 名						
U R L	http://www.gorotto.com/					
画像ファイル名						

	知 恵	袋	集			
事例コード	030					
大 分 類	コミュニティ・交流	Control of the Contro				
小 分 類	コミュニティ維持					
内 容	集落機能再編					
説明	92ある集落を、地域間の交流のある地区ごとに10地区を設け、人材不足等により維持できなくなってきた地域の伝統行事の維持・復活や忘れつつある良き集落機能を再発見し、機能維持を図る					
詳細	■限界集落突破プロジェクトとして、町が立案した事業である。過疎化・高齢化の進んだ町において、地域住民の自主的な話し合い活動により自ら考え自分たちの地域を自分たちの力で活性化させる目的で創設され、旧町ごとでそれぞれ異なっていたむらづくり事業や学校区振興会や子ども会活動等を再編し、92自治会を昔からの繋がりのある自治会ごとに10地区公民館に区分して地域づくりを支援していく。■日常の生活をしていく上で衰退してきた地域コミュニティ活動(地区内美化・景観作業や伝統行事の継承・復活等子供達への目配り、高齢世帯への声かけ運動など)身近に出来る事から取り組み、多くの地区住民の参画により元気で頑張る地域を復活させる。					
人材・組織区分	行政					
人材・組織名称						
事 業 区 分	囲 丁					
事 業 内 容	地域づくり事業、H19年度〜H21年度実施 各年度予算5,000千円、総額 15,000千円					
技 術 内 容	特に無し					
集落資産・資源1	自治会	集 落 資 産・	、次浦の			
集 答 資 産・資 源 3	口心本	果 洛 貫 座 · 集 落 資 産 ·				
集落資産・資源5		来 裕 貝 性 *	貝 (水 生)			
朱 俗 貝 炷 * 貝 似 5						
九 州 内 外	内	地域	分 類 半島			
都 道 府 県	鹿児島県	市町	村肝属郡錦	常江町		
文 献 名						
U R L	http://www.town.kinko.lg.jp/kinko02/forms/ganbaru/ganba20.pdf					
画像ファイル名						

知 恵 集 事例コ → ド 031 分 大 類 コミュニティ・交流 分 小 類 都市交流 内 容 田舎体験等における環境維持費 説 明 田舎暮らしを志向する都会人や島体験の子どもらを受け入れる際、一人一日 五百円の「環境維持費」を出してもらい、集落の自然や文化、暮らしを継続す る経費に充てる取り組み。また、同時に半泊のよさを生かした田舎暮らしの場 「田園ミュージアム」の形成に乗り出す。 詳 細 ■ 長崎市五島市戸岐町半泊の旧戸岐小半泊分校の廃校舎を拠点とし、限界 九皇王使う二十四人が失りした。■ 環境権持負は 「大日石二十一」、村日 十人で八万円。半泊四世帯で発足した住民組織「半泊親睦(しんぼく)会」が使い道を検討。看板や教会補修費、救急箱購入や住民が急患になった際の搬送費などを想定している。■ 同農援隊や五島市、市民組織などでつくる「半泊地協議会」は大久本本大下工具の時間が決め、地方の地方を持ちます。 業」に採択され、五カ年で千百万円の助成が決定。半泊のよさを生かした田舎 暮らしの場「田園ミュージアム」の形成に乗り出す。 人 材・組織区分 住民団体 人 材・組織名称半泊地域協議会、新現役の会&農援隊 区 分 住民団体 業 内 容 農山漁村地域力発掘支援モデル事業、H20年度開始で五カ年で1,100万円 技 術 内 容 特に無し 集 落 資 産・資 源 1 自然 集落資産・資源2 集落資産・資源3 集 落 資 産 · 資 源 4 集落資産・資源5 九 州 内 外内 地 分 類離島 道 府 県 長崎県 市 町 村五島市 都 文 献 名 U L http://www.nagasaki-np.co.jp/douga/20080805/05.shtml R 画像ファイル名

	知 恵	袋	集	
事例コード	032			
大 分 類	コミュニティ・交流			
小 分 類	都市交流			
内容	廃校利用のアトリエ			
説明	小学校の廃校を利用した 地域開放型ギャラリーと			·J、絵画教室、
詳細	■昭和60年に廃校となるニーズと広い活動場所を良くマッチし、H11年には1設。町平成14年には1設。町内外の様々な芸術はもとより県外からの来いた地区に、芸術を通しの小学校の課外授業の内舎の隣のスペースにはオープンし、芸術分野でる。	を求めていた洋画家 で上町一般財源で 教室を地域開放型 が家が個展を開く場 訪者も後を絶たず、 た交流人口が訪れ 育成会活動も行い、 よ、服飾デザイナー	「佳月優」氏のニー整備し、氏が貸借! 整備し、氏が貸借! 画廊「ギャラリー野 として開放された。 閉校以来過疎のー るようになった。絵! 年間利用者数は終 博多和宏氏のアー	ズがタイミング 契約し入居して 月舎」として開 これにより町内 ・途をたどって 画教室や地域 ち 6,000人。野 トギャラリーが
人材・組織 区分	行政			
人材・組織名称	日置市			
事 業 区 分	市			
事業内容	一般財源	SUMMER SERVICE		
技術 内容	不動産活用			
集落資産・資源1	廃校	集落資産·	資源2	
集落資産・資源3		集 落 資 産・	資源 4	
集落資産・資源5				
九州内外	内	地域	分 類 中山間均	也域
都 道 府 県	鹿児島県	市町	村日置市	
文 献 名				
U R L	http://www.chiiki-dukur	i-hyakka.or.jp/1_all/	jirei/2005_renewal/	HTML/47jirei/
画像ファイル名				

知 恵 袋 集 事例コ - k 033 分 類 大 国土保全 分 小 類 農地保全 内 容 牛の放牧による農地保全 説 明 耕作放棄地や人手の入りにくい急な斜面等に牛を放牧し、農地の荒廃を防 止する。肉用牛(繁殖牛)の放牧は、耕作放棄地の解消と肉用牛の低コスト 生産等に成果がある。 詳 細 ■ 大分県豊後高田市の西高地域では、H13年から豊後高田市(旧香々地 ■ 大分県豊後高田市の西高地域では、H13年から豊俊高田市(旧省ベ地町)、大分県、九州大学農学部の合同研究チームが、みかん荒廃園を利用し雑草をえさにした牛の放牧実験を行っており、この研究チームに協力してきた放牧未経験の30代から60代の兼業農家(平均年齢約50歳)が「西高の農地を守る放牧の会」を結成し、18年5月より荒廃農地への放牧を開始した。■ 放牧は、JAくにさき西部が事業主体であるリース事業や、大分県の「提案型地域産業支援事業(夢未来創造事業)」によって購入した牛や施設を利用していて、「全の台中は5004である」と18年刊在け会員数7名。市内5九所約18haで る。(会の負担は50%である。)H18年現在は会員数7名、市内5カ所約18haで 13頭の放牧に取り組んでいる。■ 熊本県球磨郡球磨村の日本の棚田百選 に選ばれた「松谷棚田」では、手の入りにくい急な斜面にヤギを放牧し、農地 の荒廃を防止する試みが実施されている。 人 材・組織区分大学 人 材・組織名称 九州大学 分県 区 業 内 容 提案型地域産業支援事業(夢未来創造事業)、H18年事業開始 技 術 内 容 放牧技術 集 落 資 産・資 源 1 耕作放棄地 集 落 資 産・資 源 2 農地 集落資産・資源3 集落資産・資源4 集落資産・資源5 九 州 内 外内 地 分 類 中山間地域 道 府 県 大分県 市 町 村 豊後高田市 都 文 献 名 U L http://www.maff.go.jp/kyusyu/jyouhou/genchi/tokutei/20060811/1806_20.ht R 画像ファイル名

		知 息		袋	集
事例コー	- k	034			
大 分	類	コミュニティ・交流			
小 分	類	コミュニティ活性化	WEED DESCRIPTION	ORNAS SEE COAS	
内	容	むらづくり応援隊			
説	明		客の「むらづくり	委員会」か	た共生・協働のむらづくりを推進 いらの要請に応じて県内のむらづ いる。
詳	細	いる。■原則として 援隊の派遣を希望 庁へむらづくり応援	農村集落の「むまる場合は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	いらづくり委 市町村を経 を提出する ハ内容等は	をむらづくり応援隊として登録して 員会」の要請に応じて派遣。応 由して、県地域振興局(支所)・支 る等の手続きが必要。派遣要請手 、県地域振興局(支所)・支庁もし る。
人 材・組 織	区分	行政			
人材・組織	名称	鹿児島県			
事業区	分	県			
事 業 内	容	むらづくり応援隊			
技 術 内	容	特に無し			
		むらづくり委員会	to the least of the control		資源2 自治会
集落資産・資			集 ',	落資産・	資源4
集落資産・資	そ源 5				
九州内	外	内	地	域:	分 類
都 道 府	県	鹿児島県	市	町	村
文 献	名				
U R	L	http://www.pref.kag	goshima.jp/san	ngyo-rodo/	nogyo/noson/mura/index.html
画像ファイ	ル名				

1		知 恵	袋	集
事例コ	— ¥	035		
大 分	類	コミュニティ・交流		
小 分	類	コミュニティ維持		
内	容	集落応援隊		
説	明			の支援ができる企業やNPOを、 援隊」制度をH21年度から始め
詳	細	し、過疎高齢化に悩むの編成に向けて紹介の討中の仕組みでは、県設け、課題や悩みを持出せる」「農産物を社員の情報を応援隊の運営して、条件が合う集落でり、耕作放棄地の草刈材の派遣だけでなく、そ	小規模集落の支援に の仕組みや活動の対 の振興局や市役所、 つ集落を把握する。 員食堂で買い取れる」 営組織に登録。ニース を紹介する―という流 りや貯水タンクの清 寄付金や物資提供、	に意欲的な企業、団体の参加を促 に一役買ってもらう。来年度予算案 象範囲を検討している■ 現在検 町村役場に集落相談コーナーを 企業、団体は「集落の作業に人を といった支援方法や活動場所など くの突き合わせ作業(マッチング)を れになる。■ 県が橋渡し役にな 帰などの活動を応援隊に依頼。人 農産品の購入などの支援も受け付 行政が関与しなくても継続できる仕
人材・組糸	織区分	行政		
人材・組織		大分県		
事業	区分	県		
事業	内容	くらしにぬくもり小規模	集落応援事業 H212	年度予算8,960千円
技 術 [为 容	特に無し		
	When Street is	## /6-14- 	Alter other Ware other	Virgination (HILL)
集落資産・		耕作放棄地		・資源2農地
集落資産・			果務資産	• 資源4 棚田
集落資産・	資源 5	日然		
九 州 四	内 外	内	地域	分 類
都 道 和	存 県	大分県	市町	村
文献	名			
U R	L	http://www.pref.oita.jp	/11400/h21/youkyu/	/data/kikaku.pdf
画像ファイ	イル名			

		知	恵	袋	集
			D.		
事例コ	— F	036			
大 分	類	国土保全			
小 分	類	鳥獣被害防止			
内	容	公務員ハンター	ANNESSES MENSES		
説	明	高知県香美市で許を持つ職員3 取得したばかり	人による「鳥獣被	けするハンター不足 害対策実施隊」を	足が深刻なため、2008年免 ・発足(1人は昨年、免許を
詳	細	獲、被害防止策るとともに、香美ついては、阿佐 活用を目指す。 処理ガイドライン ■富山県魚津市 市鳥獣被害防山 2008年11月現名	の普及啓発等、 猟友会と連携し 地域鳥獣害防止 なお、食肉として (平成20年度制 市でも、鳥獣被害 ニ計画」において E消防署員ら20	市内の被害対策(て捕獲を行う■ ま 広域対策協議会。 加工、販売する場 定予定)に準じた に対するハンター 職員をハンターとし ~50歳代の9人の	命した職員)で結成し、捕 こついての取り組みを進め た、ニホンジカ、イノシシに と連携して、食肉としての利 合は、食品衛生法、シカ肉 食肉を使用するものとする。 ・不足が深刻なため、「魚津 して養成することを策定し、)職員が免許取得を目指し
		ている。また、市	として補助金を	利用しての猟銃の	購入も予定。
人材・組	織区分	行政			
人材・組	織名称	香美市			
事業	区分	Charles and Company of the State of		united and the contraction	
事業	内 容	鳥獣被害対策 集	· 施隊 事業年度	平成20年度~平	成22年度
技術	内 容	鳥獣駆除技術			
集落資産・	資源1	鳥獣	集	落資産・資源	[2]
集落資産・				落資産・資源	
集落資産・	· 資 源 5				
九州	内 外	外	地	域分	類中山間地域
		高知県	市		村香美市
文献	名				
U = -R	L	http://www.city.	kami.kochi.jp/pd	f/92987_01.pdf	
画像ファ	イル名				

	知 恵	袋	集
+ M - 19	007		
事例コード	037		
大 分 類	国土保全		
小 分 類	鳥獣被害防止		
内容	有害鳥獣の食肉加工施設		
説明			て有効活用するため、西日本 大会社丹波姫もみじ」が元市職
詳細	社Webページでの販売を行し、食品会社と協力して、丹せた加工品開発も研究してが、狩猟の盛んなヨーロッパンでも「ジビエ(野獣肉)料理	っている。平成二- 波の他の特産品(いる。■ 日本では パでは極めて一般的 1」として親しまれる	ノと提携してのネット販売や、自 十年には、県の補助金を活用 栗、大納言小豆等)と組み合わ 、あまり馴染みのないシカ肉だ うで、最近では、日本のレストラ ようになっており、北海道では したエゾシカの利用が以前から
人材・組織区分	事業者		
人 材・組 織 名 称	株式会社丹波姫もみじ		
	民間		
事業内容	シカ肉解体加工施設	o de la companya de l	
技 術 内 容	解体加工技術		
集落資産・資源1	鳥獣	集落資産・資	F 源 2
集落資産・資源3		集落資産・資	F 源 4
集落資産・資源5			
九州内外	外	地 域 分	類中山間地域
都 道 府 県	京都府	市町	村 丹波市
文 献 名			
U R L	http://www.pref.kyoto.jp/gil	kai/html/joho/joun	in5-noukan.html
画像ファイル名			

	知 恵	一 袋 集
事例コード	038	
エーハ 短	园上	
大 分 類 小 分 類	国土保全 鳥獣被害防止	
内容	網・わな猟免許取得助	
説明	長崎市では、農作物 農協職員等で講習会 手数料及び狩猟免許	波害対策を目的として免許を取得しようとする農業者、 及び免許試験の両方を受けたものに対して、免許申請 講習会受講料の2分の1を助成している
詳細	■免許申請手数料 2補助)	5,300円(1/2を補助)、講習会受講費 10,000円(1/
人材・組織 区分	行政	
人材・組織名称	長崎市	
事 業 区 分	市	
事業内容	有害鳥獣対策事業	
技 術 内 容	鳥獣駆除技術	
集 落 資 産・資 源 1	鳥獣	集 落 資 産・資 源 2
集落資産·資源3	<u>™ =V</u>	集落資産・資源4
集落資産·資源5		一 宋仲月座 月娜 *
朱 俗 貝 炷 * 貝 俶 5		
九州内外	内	地 域 分 類
都 道 府 県	長崎県	市 町 村 長崎市
文 献 名		
U R L	http://www1.city.naga	asaki.nagasaki.jp/nogyo/information/index.html
画像ファイル名		

1. <u> </u>	知 恵 袋 集	
事例コード	039	
大 分 類	国土保全	
小 分 類	鳥獣被害防止	
内容	有害鳥獣進入防止事業費補助金	
説明	長崎市では、有害鳥獣の進入を防止するため、集落の農地	!をワイヤーメッ
	シュで囲う集落に対して材料費 の7割を補助している。	
mo ∆c=	■佐花の曲地とログト ノン・マロン社製書 ので切とせる	1.十.7.15.10.开ル
一詳 細	■集落の農地をワイヤーメッシュで囲う材料費の7割を補助受益戸数3戸以上、農業振興地域の農用地区域内の農地、上(中山間地域:1団地あたり1ha以上)。	79 る。採択要件: 1団地あたり2ha以
	工(中国同心域、「国心のにり「間域工」。	
人材・組織 区分	行政	
人材・組織名称	長崎市	
事 業 区 分	市	
事 業 内 容	有害鳥獣対策事業	
技 術 内 容	特に無し	
集 落 資 産・資 源 1	鳥獣 集 落 資 産・資 源 2	
集落資産·資源3	集 落 資 産・資 源 4 集 落 資 産・資 源 4	
集落資産·資源5	来份貝座·貝娜·	
九州内外		±
都道府県	長崎県 市 町 村 長崎	TP
文献名		
U R L	http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/nogyo/information/in	dex.html
画像ファイル名		

		知	氢	袋	集
事例コー	ド	040			
大 分	類	国土保全			
小 分	類	鳥獣被害防止	NESS DESCRIPTION	450,48,105,434	
内	容	電気柵等の無償貸	与		
説	明	長崎市では、有害原でいる。	鳥獣の進入を防	方止するため、	電気柵等の無償貸与を行っ
詳	細	を通じて本体30基を 鹿・イノシシ等進入 るものに、農協を通	を貸与。ただし 防止ネットの無 じて貸与。■っ に捕獲を実施す	柵線・支柱等 賃貸与∶原則 (ノシシ箱わな	は同で設置されるものに、農協については受益者負担。■ 13人以上での共同で設置されたの無償貸与:農作物被害防所持者に対し、農協を通じてイノ
人材・組織	区分	行政			
人材・組織					
事業区	分		allo de la constante	remains the content	
事 業 内	答	有害鳥獸対策事業			
技 術 内	容	鳥獣駆除技術			
集落資産・資	源 1	狩猟免許所持者	集	落 資 産・資	源 2 鳥獣
集落資産・資			Marie Control	落資産・資	
集落資産・資	源 5				
九州内	外	内	地	域分	類
都道府		長崎県	市	町	村長崎市
文献	名				
U R	L	http://www1.city.na	agasaki.nagasal	ki.jp/nogyo/in	formation/index.html
画像ファイル	ル名				

		知	Ī	袋	集
事例コー	· F	041			
大 分	類	地域産業·経済			
小 分	類	農業振興			
内	容	NPO法人会員によ	るトラスト農場		
説	明		グリーンライス		リ上げ、リース方式でその遊 とけて、共同農場「グリーン
詳	細	ファームはNPO法人利用の制度設計)とできる基礎を習得。 住民との交流も併せ市住民が、天草に定設(宿)を「グリーン・	人会員によるト また、農作業ト また、農作業ト せて行う。■天 を住・二地域居 ライフ・ビレッシ 地元住民によ	、ラスト農場(農材 農作業体験を行いは地域住民の指 草地域でグリー: 発住するための短 ジ」としてH20年12 る地元の食材用	討された。グリーンライフ・ は地トラスト方式による土地 いながら、自給的な暮らしが 導を受けながら行い、地域 シライフの実現を目指す都 ・中・長期的に滞在できる施 2月に開設し、グリーンライ いての「ふるさと薬膳レスト
人材・組織	区分	行政			
人材・組織	名称	天草市			
事 業 区	分	国			
事業内	容	頑張る地方応援プロ	コグラム		
技 術 内	容	農業技術			
集落資産・資	源 1	農地	集	落資産・資源	ŧ 2
集落資産・資	源 3			落資産・資源	į 4
集落資産・資	源 5				
九州内	外	内	地	域分	類
都 道 府		熊本県	市	町	村天草市
文献	名	39 天草市 NPO法	法人会員による	ろトラスト農場	
U R	L	http://www.green-li	ife.amakusa.ip	/	
画像ファイ			51-		

知 恵 袋 集 事例コード 042 分 類 大 地域産業·経済 分 小 類 農業振興 内 容 都市交流による棚田保全 説 明 地元農家が主宰する「山村塾」や、「里山・田園保全ワーキングホリデー」を通 じて、都市住民と農山村住民とが一体となり、棚田や山林といった豊かな里山環境を保全する。 ■地元農家を中心とした「山村塾」が、都市住民を対象に、荒廃した棚田の復田と環境保全型農業の実践を行う「稲作体験コース」と風倒木被害地における広葉樹の植林などを行う「山林体験コース」を開催している。他にも同塾は里山ミニワーク等の行事や農業体験交流施設「四季菜館」の運営等を行っている。■九州大学(旧九州芸工大)重松報、関東の提案による「里山・田園保 詳 細 。 ■ たがハナ (ロンピガエー人) 単仏戦別 秋夜の 佐来による「里山・田園保全ワーキングホリデー」が毎年実施され、国内外から多くの参加者があり、また、これまでの大学と地元とも連携による活動成果から、町と九州大学との間に協定が結ばれ、同施設を大学の学外研究拠点として活用するとともに、大学の知や人材を活かした地域づくりを進めている。 人 材・組織区分 住民団体 人 材 · 組 織 名 称 山村塾 分 大学 区 業 内 容 里山・田園保全ワーキングホリデー 技 術 内 容 農業技術 集 落 資 産・資 源 1 農地 集 落 資 産・資 源 2 里山 集 落 資 産・資 源 3 棚田 集落資産・資源4 自然 集 落 資 産・資 源 5 九 州 内 外内 地 分 類 中山間地域 道 府 県 福岡県 市 町 村八女郡黒木町 都 献 文 名 U R Lhttp://www.h3.dion.ne.jp/~sannsonn/ 画像ファイル名

	知 恵 袋 集
事例コード	043
大 分 類	地域産業·経済
小 分 類	農業振興
内容	ワーキングホリデー
説明	「西米良型ワーキングホリデー制度」により。都市部の人々は働きながら田舎生活(観光旅行)を楽しみ、受け入れ側は人手不足の解消や新しい風を呼び込むことができる
詳 細	■ ワーキングホリデー参加者は受け入れ農家から得た賃金で村に滞在し、余暇を楽しめる。運営主体は第3セクター「㈱米良の庄」が行い、受け入れ農家の状況を確認しながら、参加希望者に人手を必要とする農家を紹介する。 ■ 受け入れ先は現在、カラーピーマンやユズなどの農家と食品加工所を合わせて8件。参加者の報酬は1人1日(7時間)、4,270円。双子キーンプ村に3,000円で宿泊でき、滞在費用はほとんどかけずに余暇を過ごすことができる。■参加者は若い女性が多く、地元農家の若者との婚約や結婚に至った人もおり、村が元気になったため、若者のU、Iターンも多い。
1 ++ vo vm = 1.	
人材·組織区分	
人 材・組 織 名 称	(株/木良の)注
事 業 区 分	村
事 業 内 容	西米良型ワーキングホリデー制度
技 術 内 容	農業技術
集 落 資 産・資 源 1	農地 集 落 資 産・資 源 2 自然
集落資産·資源3	集落資産·資源4
集落資産・資源5	
AHAE AWO	
九州内外	内 塊 城 分 類 中山間地域
都 道 府 県	宮崎県 市 町 村 児湯郡西米良村 一
文 献 名	
U R L	http://www.nishimera.jp/modules/contents02/index.php/working/index.html
画像ファイル名	

	知 恵	袋	集
事例コード	044		
大 分 類	コミュニティ・交流		
小 分 類	都市交流		
内容	ワーキングホリデー		
説明			都市部の人々は働きながら田舎 手不足の解消や新しい風を呼び
詳	余暇を楽しめる。運営主家の状況を確認しながら ■ 受け入れ先は現在、対 せて8件。参加者の報酬 円で宿泊でき、滞在費用	体は第3セクター「他、参加希望者に人。 カラーピーマンやユ カラーピーマンやユ は1人1日(7時間)、 はほとんどかけずし 、、地元農家の若者	は家から得た賃金で村に滞在し、 財米良の庄」が行い、受け入れ農 手を必要とする農家を紹介する。 ズなどの農家と食品加工所を合わ 4,270円。双子キャンプ村に3,000 こ余暇を過ごすことができる。■ との婚約や結婚に至った人もお しも多い。
I the source to the	the or the fe		
人材・組織区分	CHARLES CHARLES AND SOLD OF CHARLES		action of the second second second second
人 材・組 織 名 称	(株)木良の庄		
事 業 区 分	村		
事 業 内 容	西米良型ワーキングホリ	デー制度	
技 術 内 容	農業技術		
集 落 資 産・資 源 1	農地	集落資産・	資源2自然
集落資産・資源3		集落資産・	
集落資産·資源5		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
宋阳 兵			
九州内外	内	地域	分 類 中山間地域
都 道 府 県	宮崎県	市町	村児湯郡西米良村
文 献 名			
U R L	http://www.nishimera.ip/	modules/contents0	2/index.php/working/index.html
画像ファイル名			

		知	恵	袋	集
事 周 -	10	0.45			
事例コー	· F	045			
大 分	類	地域産業・経済			
小 分	類	地域特産品開発			
内	容	サーファー米			
ii	明	新たな地域特産 を動機に移住した いう希望があり、	と者が多く、地元	との交流機会の場	者のほとんどがサーフィン 湯、地元に溶け込みたいと
詳	細	「珊瑚礁」経営者た田んぼ15a(15を行い、脱穀・精上で、価格500円し、デザインは商ロケットをイメーシフィン目当てに移く、地元住民が主ワークづくりを目	の河口修氏の指 え5畝)をトラクター 米し、白米と玄米 (2合・320g)にて 業デザイナー梅 にた!ターンの 体のNPOによる 指し、「おばさん・	で取り組んでしてで、 で復帰、40名の でででででいる。 い売している。 原真氏により、種 ではでいる。 ではでいる。 ではない。 でないでではんでいる。 でないでいるでいるでいる。 でないではいるでいるでいるでいる。 でないではいるではいるでいる。 ではいるではいるではいるではいるではいる。 ではいるではいるではいるではいるではいる。 ではいるではいるではいるではいるではいるではいる。 ではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいる	農業」をコンセプトに民宿いる。3~4年使っていなかっ手植えによる田植、稲刈り場内のお土産屋さんやWeb包装紙は再生紙を使用子島の特産品をあしらい、シセプトによる。■サーニンというニーズに応えるベー米以外にも地元でのネットを開始した。郷土料理が、コンタクトを深め、最後は
人材·組織	区分	NPO			
人材・組織	名称	NPO「法人ジュン	トス」		
事 業 区	分	民間			
事業内	容	サーファー米			
技 術 内	容	農業技術			
集落資産・資	源 1	農地	集	落資産・資源	2
集落資産・資	源 3			落資産・資源	4
集落資産・資	源 5				
九 州 内	外	内	地	域分	離島
都 道 府	県	鹿児島県	市	町	村 西之表市
文献	名				
U R	L	http://www10.pla	la.or.jp/juntos/f	ramepage1/right1	.htm
画像ファイ	ル名				

	知 恵	袋	集	
事例コード	046			
大 分 類	地域産業・経済			
小 分 類	地域特産品開発			
内容	漢方野菜直売			
説 明	ニッチ(すきま)を利用した差別化商品の生産。地元商店街の衰退に歯止め をかけるために、漢方野菜直売の元気村直売所出店事業を行っている。			
詳	■ 出店組合の組合長が背景にある。組合長が漢調を崩し、「食」への関心の代わりに漢方を使ったも積極的に参加し、技術代わりに漢方の搾りかすのを土に投入し、農薬の■また、同時期に地元商力を入れた小売業の共同多久市JAも力を入れてしとなり、漢方野菜栽培農物の	方野菜栽培に興味が高まっていたとき野菜栽培の話を聞を身につけていったにサンゴの粉末やに持りに漢方を煮漬店街の衰退に歯」 ではいりに漢方を煮漬店街のままでで、 でありに漢方を煮漬けます。	をもったきっかけり をに、農協の技術員いたことによる。そ と。■ 漢方栽培でり 牛の骨粉、カキ殻 詰めた上澄み液を 上めをかける目的 一新鮮館」設立構 適商品として出品を	ま、奥さんが体 強から肥料・農薬の後研修会に の後研修会に ま、化学肥料の などを混ぜたも 葉面散布する で、地場食品に 想が策定され、
人 材・組 織 区 分	住民団体	TERMENE CONTRACTOR OF THE CONT		
人材・組織名称	出店組合	1 Section 2 (50)		
事 業 区 分	民間	ACTOR OF THE STATE OF THE		
事業内容	漢方野菜直売			
技 術 内 容	農業技術			
集 落 資 産・資 源 1	農地	集 落 資 産・	・資源 2	
集落資産·資源3		集落資産・		4
集落資産・資源5				
九州内外	l th	내 伝		wh t elt
	佐賀県	地 域 市 町	分 類 中山間 材 多久市	也移
文 献 名		-1	11 <u>77 (11</u>	
U R L	http://www.mlit.go.jp/kok	udokeikaku/souha	tu/h16seika/14har	ntei/14_sanson
画像ファイル名				5

	知 恵	袋	集	
# 60 _ 19	0.47			
事例コード	047			
大 分 類	生活サービス	iosa en escapa de la celebra de		
小分類	無店舗対策			
内容	山のコンビニ			
説明			で唯一の小売店でありながら閉り 日常生活用品の小売店を経営し	
詳 細	える店が1つあったがた (NPO法人)「耶馬渓ノ ■ 店舗運営だけでなく 別府市の量販店の産値 げている。憩いのスペー ての役割も果たしている	くなったため、 200 ーソンくらぶ」が閉じた 、地区の高齢者が栽‡ ューナーで受託販売 ースとギャラリーも併設 る。■ 農産物が都市部	区に日用雑貨や食品、衣類も買5年夏に、特定非営利活動法人5店を買い取り、運営を開始した治した農産物を集荷し中津市やし、地区活性化に大きな成果もとしており、地域の寄り合い所といで売れるため、雑草だらけの入となり、「ノーソン」での買い物	、
人材・組織区分	NPO			
人材・組織名称	NPO法人「耶馬溪ノー)	ノンくらぶ」		
事 業 区 分	民間			
事業 内容	ノーソン(店舗名)			
技 術 内 容	店舗運営			
集落資産・資源1	空家	集落資産・	<mark>資 源 2</mark> 農林水産物	
集落資産・資源3		集落資産・	資 源 4	
集落資産・資源5				
九州内外	内	地域が	類 中山間地域	
都 道 府 県	大分県	市町	村 中津市	
文 献 名				
U R L	http://www.pref.oita.jp/	′10400/chiji/fureai/h1	19/05/24.html	3013
画像ファイル名				

		知 恵	袋	集	
事例コ	ード	048			
大 分	類	国土保全			
小 分	類	農地保全			
内	容	豚の放牧による農地保	呆全		
説	明	耕作放棄された棚田(は、耕作放棄地の解)	こ豚を放牧し、農地の 肖とブランド豚として <i>の</i>	荒廃を防止している。)生産にも成果がある	豚の放牧。
詳	細	欲が旺盛なため、島内量、資源循環にも寄与放牧豚」として、内蔵を民とU・Iターン者、島外	アの野菜くずや傷もの テ。■ 自然飼料を食へ ト含め東京の仏料理ハ ト生活者による「祝島	起こし耕作可能地へ再果実も豚の餌となり、 果実も豚の餌となり、 さた豚はナチュラルな原 まで人気を集めている 未来航海プロジェクト。 どの企画・運営を行っ	生ゴミの減 風味の「祝島 。■ 在来島 は他にも、農
人材・組	織区分	住民団体			
人材・組	織名称	祝島未来航海プロジェ	- クト		
事業	区分	民間			
事業	内 容	豚田兵			
技 術	内容	畜産技術			
集落資産・	資源1	耕作放棄地	集落資産	・資源2	
集落資産・	資源3		集落資産	• 資 源 4	
集落資産・	資源5				
九州	内 外	外	地域	分 類 離島	
都 道	府 県	山口県	市町	村熊毛郡上別	
文献	名	「集落支援ハンドブック	7」現代農業2008年	11月増刊	
U R	L	http://www5d.biglobe.	ne.jp/~jf−iwai∕iwaisim	anohibi2007_4 [~] 6.htm	
画像ファー	イル名				

知 恵 袋 集 事例コ → ド 049 分 類 生活サービス 大 分 小 類 無店舗対策 内 容 共同出資店と車による移動販売 大張地区に唯一あった小売店が閉店したため、一戸あたり2千円の出資金と 説 明 事業主や役場職員からの出資も募り、総額220万円の開店資金を集め、閉 鎖したままのJAの購買部に共同出資店を開店。軽トラックによる移動販売も おこなっている。 ■ 車を運転できない高齢者のために開いた、会員110名(出資者含めて300名)による大張物産センター「なんでもや」は、1年目から黒字になる盛況で、店内には、食品、日用雑貨から農機具など、何でも売られている。■ 農産物は、「なんでもや生産部会」の農家が朝収穫したものを、自分で値段をつけて店頭に並べており、農家にとっては野菜などの新たな販路拡大に入る方法を表している。 詳 細 産に意欲が沸いている。■ 地域の生活を支えるとともに、地域住民の交流の場ができ、会話が復活したため、地域活性化の拠点となっている。■ 店に来られない高齢者のために、週一回約30軒を回る移動販売を実施している。 人 材・組織区分 住民団体 人 材·組織名称 共同出資店 分 民間 区 業 内 容 なんでもや(店舗名) 技 術 内 容 店舗運営 集 落 資 産・資 源 1 空き家 集 落 資 産・資 源 2 農作物 集落資産・資源3 集落資産・資源4 集 落 資 産 · 資 源 5 九 州 内 外外 地 分 類 中山間地域 道 府 県 宮城県 市 町 村 伊具郡丸森町 都 名 「集落支援ハンドブック」現代農業2008年11月増刊 文 献 U R http://www.pref.miyagi.jp/tisin/hustle/hustle_26/forefront/forefront01.htm 画像ファイル名

知 恵 袋 集 事例コード 050 分 類 国土保全 大 分 小 類 景観形成 内 容 「花盛りの里山づくり」 説 明 集落全体で、隅々まで手入れの行き届いた箱庭のような景観を創りだす。 ■ 小河内町農地保全組合を中心に、第二次中山間地等直接支払制度のためのマスタープランに「美しいむらづくり」を集落の目指すべき将来像の一つとして掲げ、集落を流れる谷川沿いや荒廃していた里山を手入れし、美しく豊かな「花盛りの里山づくり」を行っている。■ 活動には地域づくりを手伝ってもらおうと募集した外部からの農村サポーターなどのボランディアが参加していた。 詳 る。■ 谷川沿いに落葉広葉樹と常緑広葉樹による「渓畔林」をつくり、土砂が 流出していた田の法面にシバザクラなどのグランドカバープランツを植え、竹藪になっていた山林や荒れていたかっての棚田などの私有地にも、所有者の許可を得て、伐採や草刈りを行い花の咲く木を植えている。 人 材・組織区分 住民団体 人 材・組織名称 小河内町農地保全組合 分市 区 業 内 容中山間地等直接支払制度、大分県の森林環境税の助成 技 術 内 容 園芸技術 集 落 資 産・資 源 1 自然景観 集 落 資 産・資 源 2 農地 集 落 資 産・資 源 3 谷川 集 落 資 産・資 源 4 清流 集落資産・資源5 九 州 内 外内 地 分 類 中山間地域 道 府 県 大分県 市 町 村 日田市 都 名 「集落支援ハンドブック」現代農業2008年11月増刊 文 献 U R Lhttp://www.maff.go.jp/kyusyu/jyouhou/genchi/gen1710/1710_etc.html 画像ファイル名

知 恵 袋 集 事例コ - k 051 分 類 大 地域産業・経済 分 小 類 地域特産品開発 内 容 彩(いろどり) 紅葉、柿、南天、椿の葉、梅・桜・桃の花など、料理のつまものに使う材料を 商品として販売している。他に松葉や稲穂などで作った祝膳用の飾り物や箸 明 置き、食用の山野草、食用花などを出荷している ■ 高齢者の多い町で、女性の仕事はないものかと考えていたところ、軽量であるが付加価値が高く、女性や高齢者でも容易に生産に携わることができる葉に気付き事業を始めた。生産設備に大きな投資をすることなく地域に残った人たちだけでも十分対応可能であり、約200名の生産者で、年間2億円の規模にまで成長し、全国的に大き路球の農金物を完ました。 第3セクターの「株式をおいる」は、個地なるとは、25には、個地なると、農業なの農金地を完ました。 詳 細 会社いろどり」が、個性ある上勝町の農産物を安定した価格で取り引きしても 会社がある。 らえるよう企画、情報発信、売り込みを図ると共に、市場での評価や価格を有利に取引するために必要な様々な情報を、生産農家向けにわかりやすく加工 提供する業務を行っている。 ■生産者の中心である地域の高齢者が、自宅 で市場動向を自分で把握し出荷量をコントロールできるように、イントラネットシステムを構築した結果、高齢者が売上を競うようになり町に活気が生まれ 人材・組織区分第3セクター 人 材・組織名称 株式会社いろどり 分国 区 業 内 容 通産省補助事業をH10年に1億600万円 技 術 内 容イントラネット 集 落 資 産・資 源 1 農林水産物 集落資産・資源2 集落資産・資源3 集 落 資 産 · 資 源 4 集落資産・資源5 九 州 内 外外 地 分 類 中山間地域 道 府 県 徳島県 市 町 村 勝浦郡上勝町 都 文 献 名 U http://www.irodori.co.jp/index/index1.html R 画像ファイル名

		知 恵	袋	集			
事例コー	· ド	052					
大 分	類	地域産業・経済					
小 分	類	地域特産品開発					
内	容	企業組合村ネットワー	ク				
説	明		出荷調整や規格外で余った野菜を加工して商品とし、業務用カット野菜やおむすび、スイーツとして販売				
詳	細	荷できない規格外の農材等の製造・販売拠点所得の向上や新たな見ると地元農家で企業終野菜ペースト、野菜ス	農産物等を活用し、レス 京施設(直販店舗の併雇用の場の創出をし、 租合村ネットワークを請 イーツ、おにぎり惣菜	とめの余剰品や曲がりものなど出ストラン、ホテル等向けの業務用食設)を整備等することにより、農家地域の活性化を図るために、代表设立し、業務用カット野菜、業務用を販売している。■JR大分駅構ランチャイズ店を募集している。			
人 材・組 織	区公	車業去					
		企業組合 村ネットワー	- ク				
2							
事 業 区	分	県					
事 業 内	容	村ネット地域資源活用ビジネス展開事業 平成21年度54,520千円					
技 術 内	容	食品加工技術					
集落資産・資	: 浦 1	農林水産物	集落資産	。咨 íí 9			
集落資産・資		W 111/1/12 10	集落資産				
集落資産・資			米州貝座	R W I			
术馆具座:	UNK U						
九州内	外			分 類 中山間地域			
都 道 府	県	大分県	市町	村 豊後大野市			
文献	名						
U R	L	http://muranetwork.co	om/index.html				
画像ファイ	ル名						

	知 惠 袋 集			
事例コード	053			
7 / 1				
大 分 類	コミュニティ・交流			
小 分 類	コミュニティ活性化			
内容	無線LANを活用したブロードバンド技術の導入			
説明	公共施設までLANが普及している地域において、そこから各世帯へ無線LANによるブロードバンドを提供することで、ADSLや光ファイバーなどの、従来の方法ではサービスを受けられない条件不利地域にブロードバンドを提供している。			
詳細	■2002年に開通した県内各市町村を光ファイバーケーブルでつなぎ、公共・社会サービスの推進や行政手続きの電子化を進めるための基幹となる、超高速ネットワーク宮崎情報ハイウェイ21(以下、MJH21)を利用し、山間部で無線を使ったインターネットサービスを構築し、中山間地域にブロードバンド環境を実現。■MJH21のアクセスポイントのある村役場に基地局を設置し、そこから電波を発信。各家庭では、屋上や窓の外に小型のアンテナを取りつけ、室内のPCへ配信する仕組みになっている。アクセスポイントから各家庭まで1本ずつ回線を引く必要がないため、低いコストでブロードバンドが実現した。■サービス概要:無線LANの技術を使ったインターネット常時接続サービス、インターネット+電話の月額固定料金、無線ネット(11Mbps(*注)(*注 機器間のスピードであり、実効通信速度とは異なる。加入者が増えると通信速度が低減)、			
人材・組織区分	事業者			
人材・組織名称	しんとみネット			
事 業 区 分	I			
事 業 内 容	■地域情報通信基盤整備推進事業(総務省)、行政 400万円/一地区(中継ポイント10カ所程度)、個人 プロバイダー契約 3000円/月/世帯※ただし、行政施設を無償で借用できることが条件			
技 術 内 容	ICT技術			
集落資産・資源1	インターネット利用技 集落資産・資源2			
集落資産·資源3	集落資産・資源4			
	未 俗 貝 庄 [*] 貝 <i>顺</i> 4			
集落資産・資源5				
九州内外	内 地 域 分 類 中山間地域			
	宮崎県 市町村宮崎県新富町			
文 献 名				
U R L	http://www.shintomi.ne.jp/			
画像ファイル名				

	知 恵	袋	集			
- H						
事例コード	054					
大 分 類	地域産業・経済					
小 分 類	農業振興					
内容	「むらづくり維新対策」	を活用した遊休農地流	5用			
説明	遊休農地を復活し、山なる加工に地域内の履	遊休農地を復活し、山菜(ツワブキ)を植裁、販売することで、販売の前処理となる加工に地域内の雇用が生まれ、活性化と環境保全に寄与している				
詳細	となる加工に地域内の 荒廃した農地に山菜を られている遊休農地()	■遊休農地を復活し、山菜(ツワブキ)を植裁、販売することで、販売の前処理となる加工に地域内の雇用が生まれ、活性化と環境保全に寄与している。■ 荒廃した農地に山菜を植裁したことにより、鳥獣害の抑制と景観の向上が図られている遊休農地(荒廃園)の解消目標面積2.20haに対し、2.44ha(達成率111%)再利用できた。				
人材・組織区分	· │住民団体					
	吉松山菜生産組合吉					
事業区分	国					
事業内容	元気な地域づくり交付:	元気な地域づくり交付金(H17年交付額4,000千円)				
技 術 内 容	農業技術	農業技術				
集落資産・資源1	耕作放棄地	集落資産・	資源2			
集落資産・資源3		集落資産・	資源4			
集落資産・資源5						
九州内外	内	地域	分 類 半島地塚	į		
都 道 府 県	大分県	市町	村国東市			
文 献 名						
U R L	http://www.pref.oita.jp	/15950/genki/data/ji	goyoshimatu.pdf			
画像ファイル名						

	知 恵	袋	集		
# M 13	055				
事例コード	055				
大 分 類	コミュニティ・交流				
小分類	コミュニティ活性化				
内容	「わが町づくり支援事業」を	活用した伝統芸能	復活		
説明			として再興し、町内の融和、世 出芸能を保存振興していく。	世代	
詳 細	で4、5年ごと持ち回りで披 ほど前から中断を余儀なく 民の方が「龍再興委員会」 町民出身者に募金を募り、	露されてきた。しかされてきた。 そのされてきた。 そのを立ち上げ、老朽付さらには大村市か業)」にも選ばれた。	などともに、福重地区敬老会ない、諸事情により、今から15後、2002年3月立福寺町の化した龍の新調のため、町民ら「わたしたちの地域発見支ための助成(50万円:町の助を新調。	5年 0住 た 接	
人材・組織区分	住民団体				
人材・組織名称	龍再興委員会				
事 業 区 分	熊本県	Property No. 1 (Const. Section)			
事業内容	わが町づくり支援事業93千	わが町づくり支援事業93千円			
技術 内容	伝統芸能				
集 落 資 産・資 源 1	祭り	集落資産・	資源 2		
集落資産・資源3		集落資産・	資 源 4		
集落資産・資源5					
九州内外	内	地域分	類 中山間地域		
都 道 府 県	長崎県	市 町	村大村市		
文 献 名					
U R L	http://www6.ocn.ne.jp/~ful	kusige/kyoudo-gei	no/rifukuji–jyaodori01.html		
画像ファイル名					

知 恵 袋 集 事例コ - k 056 分 類 大 コミュニティ・交流 分 小 類 都市交流 「地域づくりインターン制度」を利用した都市交流 内 容 三大都市圏の大学生・大学院生及び社会人が、7月から9月までの期間中全 国19の市町村の派遣希望地で地域の体験プログラムに参加する、国土交通 省都市・地域整備局地方振興課が地域の市町村等と連携して実施していて 説 明 いる事業。 ■派遣された人間は、受入先が用意した地域づくりプログラムを実践する。具体的な内容は、行政業務への参画(地域計画策定補助、調査研究等)、各種地域産業の体験(農業体験、物産品づくり等)、地域イベントの参画(祭り運営、イベント補助等)等。■また、地域での意見交換会や反省会などの場で、地域への思いや気づいたこと、体験成果などについての意見交換や、地元住民との交流や懇親会もある。当事例の支援項目は、鹿児島県三島村に派遣された110年度の東紹 詳 れたH18年度の事例。 人材・組織区分行政 人 材・組織名称 行政より派遣、同志社大学1名、早稲田大学1名 分国 区 業 内 容 地域づくりインターン制度(派遣先での滞在費用を支給) 技 術 内 容 各種プログラムへの参加、報告書作成 集 落 資 産・資 源 1 自然 集 落 資 産・資 源 2 農地 集 落 資 産・資 源 3 祭り 集 落 資 産・資 源 4 農林水産物 集 落 資 産・資 源 5 九 州 内 外内 地 分 類離島地域 道 府 県 鹿児島県 市 町 村 三島村 都 献 文 名 U L http://www.ujiturn.net/intern/ R 画像ファイル名

			知	恵	袋	集	
事例	э —	F	057	7			
大	分	類	生活サービス				
- 小 =:	分	類	医療福祉対策				
内		容	無医地区の支持	爰			
説		明	たる対象として、	、自律的に問診や	ゆ検査の依頼	的安定した状態に 頼、処方等を行う。 地区に派遣するた	ことが認められ 🧱
詳		細	開学されたが、	獲科大学の大学的 我が国では制度 イーショナーの資	化はされて	プラクティーショナ・ いないため、卒業 ない。	ー養成コースが しても現状では
人材・			SECRETARISM STATEMENT OF THE SECRETARIAN S			accessors and accessors	
人材・	組織	名称	大分県立看護科	斗大字			
事業			大学	electronic distribution			
事業	内	容	ナースプラクティ	ィショナー			
技 術	内	容	教育				
集落資源	在。咨	酒 1		催	落資産・	答 循 2	
集落資					落資産・		
集落資							
九州	内	外		地	域	分 類	
	府		大分県	市		村	
文	献	名					
U	R	L	http://www.oita	a-nhs.ac.jp/gurad	uate_school	/cat3-top/cat72/	/np/
画像フ	アイル	レ名					